

特集2 SA・PAの変革と多様化

人と地域にとって もっと価値のある場所となるために

「お客さま満足施設」を目指して、多様な店舗を展開しています。



NEXCO西日本グループが運営する店舗ブランドで、ビジネスなどで日常的にエリアをご利用いただくお客さまに、お得感のある食事や真心のこもった「おもてなし」を提供します。

モテナス店舗一覧	
名神高速道路	黒丸PA(上り線・下り線) / 草津PA(上り線・下り線)
山陽自動車道	淡河PA(下り線) / 道口PA(下り線) / 奥屋PA(下り線) 沼田PA(上り線) / 玖珂PA(上り線・下り線)
中国自動車道	赤松PA(下り線) / 王司PA(上り線)
高松自動車道	府中湖PA(下り線)
九州自動車道	基山PA(下り線) / 玉名PA(上り線・下り線) / えびのPA(上り線・下り線)

(注) 2014年6月末現在



ポイントを集めれば
お食事1品が無料に!

2014年4月に「モテナス」としてリニューアルした
山陽自動車道 沼田PA(上り線)



「おもてなし」の心で
お客さまをお出迎え



ワンコインから
楽しめるお得な
「モチナスランチ」

2013年6月に「パヴァリエローズマインド福山」としてリニューアルした
山陽自動車道 福山SA(上り線)



福山市の市花「ばら」を
メインコンセプトに演出



ばら関連
グッズの販売

旅の目的地となるエリア

美しい眺望・エコなどの特別なコンセプトや、さまざまな有名店が集まる複合型商業施設などの特長のあるエリアで、ご旅行の楽しさを演出します。



パヴァリエ店舗一覧	
名神高速道路	大津SA(下り線)「パヴァリエびわ湖大津」
山陽自動車道	福山SA(上り線)「パヴァリエローズマインド福山」
大分自動車道	山田SA(下り線)「パヴァリエエコエリア山田」

(注) 2014年6月末現在

Q.1 どのように「変革・多様化」しているの?

A.1 ブランド化や地域の魅力発信などに注力することで、魅力的でバラエティに富んだ店舗づくりを進めています。

SA・PA(サービスエリア・パーキングエリア)において、「モチナス」「パヴァリエ」等のブランドを展開し、「くつろぎ、楽しさ、にぎわい」を実感していただける「お客さま満足施設」への変革を目指しています。その際、地域の特性などを活かした多様な店舗展開に努めています。

特に、地域と共生し、ともに発展していくため「地域に開かれたSA・PA」の創造を目指して、2013年度から「地域連携制度」を新たに導入しました。包括的相互協力協定^①を締結した自治体との連携で、観光情報の発信など地域のPRや、特産品・郷土料理の試行販売等のプロモーションに、SA・PAを活用する取り組みです。その一例として、2014年4月にリニューアルオープンした美東SA(上り線)では、瀬戸内ブランド推進連合を構成する7県とともに取り組みを開始しました。今後も、地域の魅力を伝える個性豊かなエリアを整備していきます。



中国道 美東SA(上り線)での地域情報の発信

また、高速道路ネットワークを活用した地域活性化の取り組みのひとつとして、西日本各県と連携した広域観光連携キャンペーンを2012年から実施しています。2014年は「お国じまんカードラリー」として、19府県の一押しスポット119カ所に設置された「GO! JIMANカード」を集めながら、西日本を周遊いただくカードラリーを開催しています。



GO! JIMANカード



お国じまんカードラリーリーフレット

社外コメント

NEXCO西日本様のSA・PAと連携し 今後も瀬戸内の魅力発信をしていきたい



瀬戸内ブランド
推進連合理事
広島県商工労働局
海の道プロジェクト
・チーム担当課長
村上隆宜 様

当連合では、瀬戸内に面する7県が一丸となり、瀬戸内を北海道や沖縄のようなブランド観光地にするべく、地域の魅力の発信に取り組んでいます。瀬戸内を含む西日本広域で高速道路網を持つNEXCO西日本様との連携は不可欠と考えていたところ、SA・PAを活用したPRプロモーションを提案いただき、今回、美東SAでのイベント実施や「瀬戸内ブランド認定商品」の販売が実現しました。

イベントの来場者を対象としたアンケートでは、ブランドの認知度が2割を超えるなど、さっそく手ごたえを感じているところです。「瀬戸内ブランド」の確立に向け、今後も、欠かすことのできないパートナーとしてのお付き合いを願っています。

Q.2 最近の「食」への関心の高まりに どう対応しているの?

A.2 今期は特に食の安全性・透明性の向上に注力しました。

SA・PAにおける食の安全性・透明性の確保の点から、アレルギー体質のお客さまや海外からのお客さまにも安心してお召し上がりいただけるように統一デザインによる使用食材の表示を実施しています。

また、2013年のメニュー誤表示報道を受け、SA・PAのメニューを調査した結果、適正さを欠くメニュー等の表示が確認できたため、再発防止策として、テナント会社(全59社)を対象に関係法令等の研修会を実施し知識の向上を図るとともに、メニュー等表示の適正化の方針を策定し、取り組み状況の履行確認をすることで、メニュー等の不適切な表示の防止に努めています。



イラストを使用した
使用食材の表示例